

公益財団法人 日本学校保健会事業

学校における飲酒防止教育支援研修会（オンデマンド開催） 実施要項（案）

【目 的】

未成年者の飲酒は、喫煙と同様に法律で禁じられていますが、児童生徒の飲酒が禁止されていることに対する認識は喫煙よりも甘く、中高生の飲酒経験の割合は減少傾向にあるものの喫煙よりも高いのが現状です。また、(公財)日本学校保健会の調査では、20～24歳の成人の飲酒経験率は86.5%と高く、そのうちイッキ飲みの経験をしたことがある人が30.9%いました。未成年が成人と比較してアルコールによる悪影響を受けやすいことから、未然防止に係る教育及び啓発が必要であることは言うまでもありませんが、20歳になってからの飲酒の問題点についても認識しておく必要があります。学校における飲酒防止教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てることが大切であり、学校における未成年者飲酒防止に関する教育では、医学的な知見に基づく健康への影響に対する理解を促すと共に児童生徒等に訴求効果の高い実践が求められます。

本研修会は今後の未成年者飲酒防止教育の在り方等について教育関係者や医療関係者等に情報発信していくことを目的としています。

主催：公益財団法人日本学校保健会

協賛：ペルノ・リカール・ジャパン株式会社

- 1 日 時：令和3年8月～3月11日（金）
- 2 形 式：オンデマンド配信（日本学校保健会 HP より事前に申込）
- 3 参加対象：学校教育関係者等（管理職、教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者）
- 4 参加費：無料（事前にお申込みください）
- 5 内 容（敬称略）各講演30分程度
 - (1) 趣旨説明 小出 彰宏（文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官）
 - (2) 講演1「未成年の飲酒の危険性と女性の飲酒のリスク」
松下 幸生（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長）
 - (3) 講演2「若者のイッキ飲みに関する実態とその対策」
北垣 邦彦（東京薬科大学薬学部 教授）
 - (4) 講演3「飲酒等危険行動防止のためのライフスキルの育成」
西岡 伸紀（兵庫教育大学大学院 教授）
 - (5) 実践1「健康と飲酒」（中学校保健体育分野 実践）
桐原 洋（山梨県河口湖南中学校組合立河口湖南中学校 教頭）
 - (6) 実践2「小学校における未成年飲酒防止の取組」
中村まさえ（茨城県利根町立文小学校 養護教諭）